

在留邦人の皆様に、医務班から医療情報を提供します。

昨年3月、当地で新型コロナウイルス感染の第一例が認められて以来、今日まで感染が続いています。クリスマスや年末年始に人々の接触や移動が増えた事もあり、ここ数週間では感染が増えており、1日の新規感染者数が1,000人を超える事も珍しくなくなりました。この数字は、人口比で考えると、実は、日本の新規感染者数の2.5倍に相当します。日本でも感染者数が増えている事が、連日報道されていますが、その2.5倍の感染が、ホンジュラスで発生しているのです。

今後、感染がいつ頃収束を迎えるのか、具体的な見通しは立っていませんが、個人の衛生意識の向上が感染対策の基本である事は、論を待ちません。手指衛生、社会的距離の維持、マスクの着用といった基本的な衛生活動は、感染のあらゆる場面、段階で有効です。自分の身は自分で守る。この原則は、犯罪対策だけではなく、感染対策においても心がけて欲しいと思います。

なお、医療情報に関しては、外務省の「世界の医療事情」というウェブサイトを提供しています。2年に一度更新しており、今年はちょうど更新の年であり、近日中に更新されます。

ホンジュラスには、近代的な設備の整った医療機関が用意されており、テグシガルパやサンペドロスーラの代表的な医療機関に関して、どのような病気の診療が可能なのかなどを、ご覧になる事ができます。当地では、検査の結果をメールで受けとるサービスも発達しており、この点は、日本よりも進んでいるかもしれません。CTスキャンなどの画像検査もデジタル化されており、発達している印象です。

また、「世界の医療事情」のウェブサイトでは、新型コロナウイルス以外にも、デング熱やマラリアなど、当地で感染しやすい感染症について、傾向と対策を紹介しています。感染症の中には、ワクチンを接種する事で予防する事が可能な疾患もあります。当地で接種可能なワクチンに関しても情報を提供しているので、是非、ご覧下さい。

新型コロナウイルス感染が収束し、皆様とお目にかかれる日がやって来る事を、信じています。その時まで、どうかお元気でお過ごし下さい。